



●全国過疎地域連盟会長賞受賞
令和3年、大淵区の地域づくり活動が、過疎地域の先進的事例として認められ、全国過疎地域連盟会長賞（全国で6団体）を受賞。

躍 市民参画

つくる

賑わいを

躍 地域おこし

●八女市地域おこし協力隊
平成25年度から地域おこし協力隊事業を開始。着任した隊員の定住・定着をサポートすることにより、福岡県内でも高い定住率を誇っています。



●INTERVIEW VOICE

ピカピカの大淵づくり

大淵地区自治運営協議会
谷口 健一さん

平成元年から、りんご園を借りて始めた野外音楽祭「アップルコンサート」。平成22年から、耕作放棄の棚田を開墾し、花でいっぱいしようとして始めた「コメ花プロジェクト」。少しずつ「大淵」の名が広まっていきました。人はどうしても艶やかな都心に向きがちですが、自分たちには人に誇れる田舎があるんだということを発信していきたい。子どもたちが孫たちに自慢できて、孫たちも友達に自慢できるようなピカピカの大淵づくりをしよう。そしてはじめたのが「大淵献燈祭」です。地域の人たちと連日連夜灯籠を制作。今では、外から見ず知らずの人まで手伝いに来てくれる一大イベントに成長しました。ここ大淵地区は歴史を遡ると多くの血が流れた場所。私たちは献燈祭を通して、この地で失われた魂を慰め続ける使命と向き合いながら、誰もが心の中に生き続ける大事な人への想いを繋いでいける、そういう大切な場所にしていきたいと思っています。

●INTERVIEW VOICE

ハ女と人とのつながり

地域おこし協力隊
戸澤 理紗さん

令和6年3月現在、9人のメンバーで活動しているハ女市地域おこし協力隊。立花でみかんをつくったり、関係人口の創出のためにコミュニティ通貨をつかったイベントをしたり担当は様々。私は星野村の観光振興に配属されています。もともと東京の法政大学の卒業研究で星野村に来たのがはじまりです。いろんな方のお話を聞くなかで「がんばりよるよ星野村」で活動されている山口聖一さんに出会い、地域活性に関心が生まれ、そのまま星野村に残ってオンラインで大学院を卒業し、現在地域おこし協力隊として活動しています。自然の中でみんなが助け合って生きるライフスタイルが自分の肌に合うと感じたのが一番です。ハ女市は個性豊かで魅力的な場所。もっと関東の人にも知ってもらいたいですね。現在も大学とつながりがあり、毎年学生やその家族が来てくれます。そういう広がり大切に、ハ女市と人をつなげる役目になれたらと思っています。